



2021南中学校通信

第3号

令和3年6月7日

校長 北村 浩久

6月を迎え、早いもので1学期も半分以上が過ぎました。今年は例年のない早い梅雨入りで、はじめとした汗ばむ日が続いています。昨年度から普通教室にはエアコンが完備されましたので、気温や湿度を見た上でエアコン稼働させ、快適な学習環境を保ちながら授業を進めています。

新型コロナウイルスは「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の適用で、感染拡大には一定の歯止めがかかっていますが、全国的には高止まり状態が続き、終息はまだまだ先になりそうです。子どもたちは、そんな状況下で制限のある学校生活を送っていますが、勉強や部活動に励む姿は一生懸命で、コロナ不安を感じさせないくらいエネルギーに頑張ってくれています。

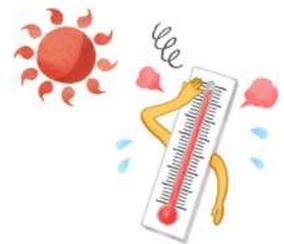
私たちも、そんな子どもたちの頑張りを精一杯支援していきますので、よろしくお願いします。

☆☆ クールビズ ☆☆

初夏を迎え、本校では6月1日から子どもたちの服装にクールビズを適用し、体操服による登下校、学校生活を認めています。原則は制服ですが、理科室や美術室などエアコンが配備されていない特別教室があるため、今年度もクールビズを適用しました。

エアコンの入っている教室で授業を受ける場合、座席によっては、吹き出し口からの冷風が直接身体に当たってしまう場所もあります。寒いと感じる場合は、制服で授業を受けるようにしてください。

なお、クールビズ適用期間は、9月22日（体育祭終了日）までです。9月下旬の気温によっては延長することもありますので、その時は改めて連絡させていただきます。



☆☆ 全国学力・学習状況調査、みえスタディチェック ☆☆



5月27日（木）に3年生は全国学力・学習状況調査、1・2年生はみえスタディチェックを実施しました。

全国学力・学習状況調査は、文部科学省が全国小中学校の最高学年（小学6年生、中学3年生）全員を対象として、学力・学習状況を調査することを目的として行い、2007年より実施しています。学力を問う出題だけでなく、児童・生徒の学習環境や生活環境のアンケート調査も行います。

具体的には、「全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。」「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。」「そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」こととしています。

学校別の調査結果を受けて、本校生徒の強みや弱みを分析し、子どもたちの学力向上に役立てていきます。

みえスタディチェックは、学力向上に向けた三重県独自の取り組みで、「児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育むこと」を目的として中学校では1・2年生を対象に実施しています。全国学力・学習状況調査同様、本校の分析を進め、今後の学力向上に役立てていきます。

なお、これらの調査結果等は毎学期末にお渡しする通知表の評価には一切含まれません。

☆☆ 自然教室(1年生) ☆☆

5月10・11日に四日市市少年自然の家で自然教室を実施しました。

好天にも恵まれ、1日目はロングハイキングで宮妻峡まで行き、ニジマスのつかみどりを行いました。生きた魚を手づかみで捕る経験のない子どもがほとんどで、歓声を上げながらつかみどりを満喫していました。捕ったニジマスは、河原に作ったかまどで焼いてお昼ご飯にいただきました。



夜はキャンプファイヤーを行いました。第1部のセレモニアルファイヤーでは、厳肅な雰囲気の中、火の神に扮した4組の森ノ内涼介さんが火にまつわる話を語り、点火後、各学級の室長が学級目標やこの自然教室で達成したい思いを宣言してくれました。その後はフォークダンスやクイズを楽しみ、友情を深める貴重な時間となりました。

2日目は、火起こし体験と防災食体験とオリエンテーリングを行いました。例年野外炊飯を行い、みんなで調理した食事を食べるのですが、今年は新型コロナウイルス感染対策のため、調理をせずに防災食をみんなで食べる体験をしました。防災食を温めるための火を自分たちで起こしましたが、普段スイッチ一つで火が付く生活に慣れている生徒にとっては、「まいぎり」や「ファイヤースターター」を使って火をおこす体験は貴重なものとなったように思います。

この自然教室で培った集団行動の大切さや仲間づくりの必要性などを今後の学校生活に生かしていただきたいと思います。なお、写真等は学校ホームページに掲載していますので、そちらをぜひご覧ください。

☆☆ 修学旅行(3年生) ☆☆

5月30・31・6月1日に修学旅行に行ってきました。本校の修学旅行は毎年東京・横浜方面に行っていますが、今年は関東方面の新型コロナウイルス感染状況が予断を許さない状況であるため、地元三重県内で実施しました。

「Enjoi〜映し出した輝く三重〜再発見の旅」のスローガンを掲げ、三重の良いところを見つけ出そう、仲間との友情を深めようと実施しました。



「熊野古道」「七里御浜」「体験学習(キャンドル作り、箸・かまぼこ作り、釣り、シーカヤック、真珠取り出し)」「おかげ横丁」「鳥羽水族館」「講演会(鳥羽水族館セミナー、環境講座)」「志摩スペイン村」と盛りだくさんの訪問先や内容で、子どもたちは十分三重の素晴らしさを再発見できた旅行になったように思います。特に世界遺産でもある「熊野古道」は起伏の激しい難所ではありましたが、汗を流しながらみんなで歩いたことは大変貴重な経験であり、子どもたちの心の中にこれからも残る体験であったと思います。3年生もこの修学旅行で学んだことを今後の学校生活や中学校卒業後の生活に生かしていただきたいと思います。

なお、自然教室同様、写真等は学校ホームページに掲載していますので、そちらをぜひご覧ください。